



uObserve[®] Version 6.3 リリースノート

リリースノート – 2026 年 8 月 24 日

Table of Contents

新機能	2
機能強化	2
修正された問題	3

新機能

本バージョンで追加された新機能はありません。

機能強化

- **iST/cVST OS プラットフォームのサポート**

- RHEL8/Rocky8, RHEL9/Rocky9 (トランザクション解析対応)
- RHEL10/Rocky10 (トランザクション解析および CTM 対応)
- Ubuntu 14, 16, 18, 20, 22, 24 (トランザクション解析および CTM 対応)
- Suse15, Oracle9

- **PVST(物理 vST)のトランザクション解析/CTM プラットフォームサポート**

トランザクション解析と CTM を有効化する GUI オプションが追加されました。

- RHEL8/Rocky8, RHEL9/Rocky9 (トランザクション解析対応)
- RHEL10/Rocky10 (トランザクション解析および CTM 対応)
- Ubuntu 14, 16, 18, 20, 22, 24 (トランザクション解析および CTM 対応)
- Suse15, Oracle9

- **Azure と AVS パフォーマンスカウンターの拡張**

iST は iST の OS で定義された名前ではなく、トポロジー(Azure、VMware など)で定義された VM 名を使用するようになりました。したがって、OS で定義された名前の代わりに VM 名を使用して統計情報が表示されます。

- **サーバダウンの誤警報の削減**

Ping 応答可否や送信パケット検出を活用し、誤ったダウン判定を低減しました。

- **SSL 証明書の有効期限表示不具合修正**

1969 年と表示されていたのを正しい失効日を表示するよう修正しました。

- **CSV 形式の VM Resource Provisioning Summary レポートの生成失敗**
サイズの大きいレポートの生成に失敗する問題をプロセス分割により修正しました。
- **vCenter のデータストアメトリックを使用したデータストア容量と使用率の表示**
データストアストレージの容量と使用率の正確性を改善するため、vIC が vCenter のデータストアパフォーマンスカウンタへ直接クエリするようになりました。
- **UDP ポートによるカスタムアプリケーション分類を TCP に加えて追加**
ユーザ定義アプリケーションを UDP または TCP ポートに基づいて定義できるようになりました。
- **タイムスタンプフォーマットの変更**
アラームは UTC にて、レポートおよび GUI はローカル時間表示するようになりました。

修正された問題

- **iST のスロットカウントが実際にモニタ可能な数と一致するように改善されました。**
- **クライアントとしてのみ動作しているノードが Stats Browser に表示されないよう修正されました。**
- **v Center のパスワード変更後の Uila での vCenter パスワード設定変更の簡素化**
vCenter へのログイン情報を変更するために vIC の CUI ターミナルにアクセスしてコマンドを実行する必要がなくなり、Uila の設定用 Web インターフェイスから直接変更できるようになりました。